

- A. 日 時 2009年11月18日(水) 17時00分～19時00分
- B. 場 所 建築学会会議室
- C. 出席者 安藤 啓、井上勝夫、大鶴 徹、佐久間哲哉、田端 淳、羽入敏樹、平松友孝、平光厚雄、堀之内吉成、宮島徹、渡辺充敏(敬称略)
欠席者 岡田恭明、土田義郎、佐藤史明、中澤真司、濱田幸雄、峯村敦雄、吉村純一(敬称略)
- D. 提出資料
- No.4-0 2009年度 第3回音環境運営委員会議事録(案)(渡辺)
No.4-1 2010年オーガナイズトセッション概要(佐久間)
No.4-2 2010年度委員会活動計画案・音環境運営委員会(田端)
No.4-3 2010年度委員会活動計画案・環境工学委員会(大鶴)
No.4-4 「建物の床衝撃音防止設計」講習会案内(井上)
No.4-5 集合住宅の室内環境音データ収集へのご協力のお願ひ(濱田)
No.4-6 日本音響学会建築音響研究会・今後の予定(佐藤)
No.4-7 日本音響学会騒音・振動研究会・今後の予定(岡田)
- E. 審議事項
1. 前回議事録確認(資料No.4-0)
- ・ 出欠:平松委員は欠席に修正
 - ・ 3頁目「低周波音問題環境小委員会」を「低周波音問題刊行小委員会」に修正
2. 環境工学本委員会(2009.11.18)報告(田端主査)
- 学術推進委員会拡大幹事会報告:
 - ・ 大会の募集要項がほぼ決定(正式には12月に決定)。
 - ・ 2010/4/27にプログラム編成委員会。
 - ・ 朝の交通混雑を考慮して、開始時刻、終了時刻の繰り下げを検討中。
 - 2010年度技術部門設計競技:“新たなビジネスモデルのための建築ストックの活用技術・デザイン”に決定したが、タイトルはより平易に変更する。
 - 環境工学者名簿:発刊された(一部2,000円)。
 - 大賞業績候補:大賞に木村先生を推す事に決定。
 - 文化賞業績候補:候補者なしで見送り。
 - 各種委員会委員推薦:学会賞論文部会委員と奨励賞委員について推薦を求められている。2010年度は音環境として推薦はなし。
 - 2010年度大会:
 - ・ 研究協議会:“地球環境の時代に環境工学分野の研究成果を広く社会に活かすために”に決定(テーマ名は変わる可能性あり)。二日目の午後の開催で申し入れる。
 - ・ 研究懇談会:“人間、社会にとって望ましい環境とは:環境工学研究の基本的枠組みを再考する”の方向で進める。初日の午後の開催で申し入れる。
 - ・ PD:“今考える、住宅照明の未来”(光環境)。三日目の午後を希望している。
 - ・ 細分類、細々分類の変更:音は変更無し。久野委員長は、2011年度に向けて「熟」関連の分類を投稿者が選びにくいように見直したいとの意向。見直しが必要か否かのチェックを行うWG設置。
 - ・ OS:環境系では5テーマ。佐久間委員より、OS案について説明があった(資料No.4-1)。
 - 運営委員会自己評価:活動活性化と各運営委員会の活動を相互に知るのが目的。年内に自己評価シートを作り上げる予定。意見は田端主査まで連絡の事。
 - ・ なぜ“5年間をふり返って評価”する事になっているか(平松) → 推移を見るため(田端)
 - 環境工学者名簿:
 - ・ シンポジウム等の案内は、事務局か幹事団から一括してメールを出す方法になる。月に一回程度のペースとなりそう。発信する内容は、名称、日時、場所、簡単な内容を三行くらいと案内

が掲載されているURLを貼って出したいとのこと。フォーマットは事務局で作る。

- ・ 久野委員長から、催し物の案内だけではなく、大学の公募情報等も載せられないかとの提案があり基本的に了承された。事務局から責任の所在を明らかにして欲しい要望あり。どこまで載せるかの仕分けは、現時点では幹事団で対処。試行的に実施する。

3. 小委員会・WG 活動報告

音環境運営委員会(田端主査)

- ・ 活動計画：運営・調整会議を行う。各小委員会によるシンポジウム、大会OS等が成果。

固体音小委員会(中澤主査、平松委員)

- ・ 10/9に第四回開催し、聴感試験用音源の試聴を行った。これまで学生を中心に試験を行ってきたが、委員を中心とした試験計画を練った。12月中に委員による試験を終え、次回(12/18)に結果の検討を行う予定。
- ・ 固体音測定法WG:第三回を11/12に開催。これまで固体音の測定方法が記された書籍の内容を確認。鉄道固体音でどのような測定が行われているかリストにする作業を進めている。Slow Peak、Fast Peak、Leq等の分析方法の違いによりどの程度レベルが変化するかをデータを持ち寄り検討する予定。
- ・ 活動計画：ボールによる評価方法を作り上げる。2011/3にシンポジウム開催。

集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会(濱田主査、田端委員)

- ・ 10/26に開催。委員会メンバーに配布、試用した室内環境騒音データシートについて審議し最終案を決定。11月上旬に関係者に一斉送信するのでご協力をお願いします(資料No. 4-5)。
- ・ 活動計画：室内発生音の24時間調査等を行う

建築音響測定法小委員会(宮島主査)

- ・ 10/7に第三回開催、次回は12/7予定。
- ・ 機械系のインピーダンス測定法であるISO7626-5について勉強し、床板の測定に対して足りない部分を明確にするための議論を行った。今後、ドキュメント化の作業を続ける。
- ・ 短時間測定法は、実騒音による測定法の検討を行っている。現場における測定を12月に予定。
- ・ フランキングについては、EuroNoise2009に参加する吉村委員から関連セッションの様子について次回報告予定。
- ・ 活動計画：継続した活動。測定法のアスタ化は、検討依頼があった場合に取り組んでいく。

室内音響小委員会(羽入主査)

- ・ 10/20に第三回開催。
- ・ 新委員(主に設計畑の方々)が加わりフルメンバになった。設計現場で困っている事等についてディスカッションをした。ディスカッション等を通してニーズを拾い活動を拡げて行きたい。
- ・ 音響指標測定WG：コアメンバ決まった。年内に第一回WGを開催予定。
- ・ スピーチプライバシーWG：6月に開催したシンポジウムを通して課題が抽出され、方向性が見えたので、個別に研究を深めていくフェーズに入った。
- ・ 活動計画：得られたキーワードをどのように集約するか、またアウトプットをどのような形にするか模索する。音響指標測定WGは、ベンチマークの試作段階までつくる。スピーチプライバシーWGは、それぞれターゲットとする空間を絞った現在の活動を継続。またスピーチプライバシーシステムを導入した現場から意見を聞けそうであり、データ、アンケート結果から議論を深める。

音響数値解析小委員会(佐久間主査)

- ・ 12/22に第三回開催予定。
- ・ メール審議でOSの方向性を議論した。
- ・ 音環境の数値シミュレーション刊行小委員会(大鶴主査)と合同で開催しており、委員が纏めた資料についてより良い物とするために毎回3~5件の討議。
- ・ 活動計画：継続した活動。年度末にシンポジウム開催
→ 企画書を作成して田端主査に送ることになった。

企画・広報WG(峯村主査、宮島委員)

- ・ 9/28に第三回開催。
- ・ 産学連携に関する調査のSWGは、この10年間の研究動向調査。騒音問題低減のための住まい方マニュアルに関する検討SWGは、世の中の住まい方マニュアルの調査、また建築学会がつくるとしたらどのようなマニュアルが望ましいか議論。
- ・ 活動計画：継続して研究動向調査、住まい方マニュアルの検討。シンポジウムの準備。見学会に関する検討。

音環境アカデミックスタンダードWG（平松主査）

- 9/30に第三回開催。
- 遮音性能基準SWG、集合住宅遮音設計指針SGWを設置し、11/10に合同SWG開催
- 活動計画：WGドラフト1年半、刊行小委員会に移行して3年半での完成が目標
→ 活動期間等を修正して田端主査に送付
 - 音環境アカデミックスタンダードに関する委員会は、常置的な委員会であるべきと考える。また小委員会として、傘下にWGを置くのが望ましいと考える。本委員会で小委員会とすべきか検討頂きたい(平松委員)
 - 今のWGでは2年ごとの委員見直し、予算がつかないためメンバーも限られる、SWGが正式な組織として認められない等の点から、音環境としては、小委員会としたい。可能なのか、手続き、調整等については、事務局、本委員会の主査、幹事に確認する(田端主査)

音環境の数値シミュレーション刊行小委員会(大鶴主査)

- 活動計画：来年度の3月までに刊行、次いで講習会を開く。内容に関しては、音響数値解析小委員会との協力の下に進めていく。300頁、500部で計画。

低周波音問題刊行小委員会(安藤委員)

- “低周波騒音”という用語をやめるように申し入れ、了解された。
- 12月くらいに第一回の査読原稿が、本委員会にも回ってくると見られる。

4. 建物の遮音設計資料(床衝撃音)の講習会(資料No.4-4)(井上委員)

- 12月2日に開催、講習会等に関する説明があった。

5. 他学会の予定

日本音響学会・建築音響研究会(資料No.4-6)	12/2	京大会館
	1/20	キャンパスポート大阪
日本音響学会・騒音振動研究会(資料No.4-7)	12/11	九州大学
	1/22	新潟大学
	2/19	大阪大学

6. その他

- CASBEEの音に関する項目について(平光委員)
 - 昨年度申し入れた本委員会からの要望は2010年版(4~5月頃)に反映される方向。
 - CASBEE すまい(住戸ユニット)の作成に参加しており、それでは住戸内の吸音の項目は除いている。
 - 住宅と非住宅を分ける方向。住宅については“CASBEE すまい”、非住宅は今までのCASBEEで評価されるようになる。

7. 次回の予定

2009年度 音環境運営委員会予定		
第1回	2009.5.21(木)	実施
第2回	2009.7.30(木)	実施
第3回	2009.9.25(金)	実施
第4回	2009.11.18(水)	実施
第5回	2010.1.22(金)	(決定)
第6回	2010.3.16(火)	